

イルカ通信

小笠原ホエールウォッチング協会 (OWA) 2009年4月1日 No. 029

隔月1回発行
バックナンバーは無料でダウンロードできます
(下記参照)

「アホウドリにも注目！」

小笠原では、11月過ぎから5月中旬位まで、ザトウクジラを観察することができます。また11月過ぎから6月上旬位にかけ、クロアシアホウドリとコアホウドリという2種のアホウドリ類が繁殖のために小笠原を訪れます。アホウドリ類の方がちょっと長めですが、ザトウクジラと同じような時期に、その姿を見ることが出来ます。

2009年の2月、アホウドリの新しい繁殖地を作るための取組みが聳島で始まりました。ヘリコプターで伊豆島から聳島に輸送されたアホウドリのヒナ15羽は、巣立つまでの約4ヶ月間、人の手で飼育されます。

2月5日～13日、OWA職員がこの取組に参加しました。普及啓発のため、アホウドリの情報を収集することが目的です。OWAは鯨類だけでなくエコツアーの調査・研究も実施しており、小笠原のエコツアーの新たな対象として、アホウドリ類にも注目しています。今回収集した情報については、機会を捉えて様々な形で公開していく予定です。



Bシップ船に時々現れるアホウドリのデコイ (実物大複製)

「ザトウクジラ観察 in 聳島」

2月5日～13日、聳島に滞在した際、キャンプサイトからアホウドリ飼育地までの移動の途中、飼育地での給餌作業の合間など、様々な場面でザトウクジラを見る機会に恵まれました。特にアホウドリ飼育地となっている聳島北西端では、給餌作業のため長時間を過ごしたこともあり、ブローだけでなくプリーチングも度々目撃。岸から数百m程の場所に現れたザトウクジラのブローの音がはっきりと聞こえたことも。

また2008年4月、小笠原諸島返還40周年事業の一つとして、OWA主催「ははしま丸で行く聳島あほうどりクルーズ」を実施した際にも、聳島まわりでザトウクジラの姿を何度か観察することができました。

聳島まわりにいるザトウクジラは、父島や母島の周辺にも移動することが知られています。今回改めて、聳島まわりでもザトウクジラを良く見かけるな、という印象を受けました。なかなか訪れる機会のない聳島ですが、アホウドリといいザトウクジラといい、その魅力には驚かされるばかりです。恐るべし聳島列島。



聳島でのクジラ観察の様子

クジラの陸上観察会

展望台から小笠原ホエールウォッチング協会の解説員と一緒にクジラ探しをしましょう。

日時：4月から5月上旬のおがさわら丸父島入港日を予定
4月2・8・15・22・29日
5月2日

雨天や強風の際は中止します。4月以降は次号でお知らせします。

時間：16:00～17:00

場所：三日月山展望台(ウエザーステーション) 現地集合・解散

主催：小笠原ホエールウォッチング協会

参加費は無料です。双眼鏡をお持ちの方はお忘れなく。



クジラや夕日が見える展望台での観察会です。

小笠原ホエールウォッチング協会

〒100-2101 東京都小笠原村父島字東町 Tel 04998-2-3215 e-mail owa@h6.dion.ne.jp

URL <http://www.ogasawara.or.jp/owa>

http://www.ogasawara.or.jp/owa/

イルカ通信はOWAのホームページ (<http://www.ogasawara.or.jp/owa/>) もしくは (<http://www.h2.dion.ne.jp/~owa/nukatsushin/nukatsushin.html>) からダウンロードできます (無料)